

分野	専門分野	科目名	老年看護学概論
時間	15時間	開講時期	1年次（後期）
講師名	外部講師		
科目目標	1. 老年期にある人の身体的・精神的・社会的特徴と発達課題が理解できる。 2. 老年期にある人を人間として成長発達している存在と捉え、一人ひとりの生命と人格を尊重する態度を養う。 3. 社会構造の変化・高齢化に伴う高齢者の保健・医療・福祉のあり方と機能・役割を理解する。 4. 加齢（老化）に伴う高齢者の特徴、および健康障害の特徴と症状・検査・治療に対する援助方法を理解できる。 5. 高齢者の特徴を理解し、高齢者の立場に立った援助の必要性が理解できる。		
講義形態	①講義・演習		
講義内容			
高齢者の理解 1. 加齢と老化 2. 発達課題 高齢者を取り巻く社会と社会保障 1. 超高齢化社会の現状 2. 高齢者の生活と家族 3. 保健医療福祉の動向と看護活動の多様化 4. 高齢者の権利擁護 老年看護の役割 1. 老年看護の役割と特徴 2. 老年看護にかかわる諸理論 高齢者のヘルスアセスメント 1. ヘルスアセスメントの基本 2. 身体の高齢変化とアセスメント 生活機能を支える看護 1. 日常生活を支える基本的活動 2. 食事、食生活、排泄、清潔 3. コミュニケーション 4. セクシャリティ 5. 社会参加 健康逸脱からの回復を促す看護 1. 症状別看護 2. 疾患別看護 3. 認知機能障害に対する看護 治療を必要とする高齢者の看護 1. 検査、薬物療法、手術を受ける高齢者の看護 2. リハビリテーションを受ける高齢者の看護 3. 高齢者看護におけるチームアプローチ		エンドオブライフケア 1. 死生観、意思決定支援 高齢者のヘルスプロモーション 1. 健康の増進 2. 保健医療福祉施設および移住施設における看護 3. 治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護 高齢者のリスクマネジメント	
【テキスト／参考文献】			
医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護学			
【評価】			
学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			